

才

い

混屯北の報告

七月廿二日

一午前十時上原少佐東團又各部隊長ヲ會ニ密旨ヲ授ク

一午前十時朝鮮ノ諜報ヲ得其決心ヲ知レリ

一午前十時五十分受領一戸少佐ヨリノ報告

昨日和城ニテ夕刻ヨリ公使ノ音導會アリ

本夜ヨリ南山頂ニ於テ行フ非常ノ降點火ハ從來ノ点燈

ニ換ユルニ竿頭ニ束子まきこ松明ヲ左右ニ振動スルヲ改ム

一午前十時十九分着竹内兵站並ヨリ電報

彈藥ヲ移スノ件ハ今日ノ情況ト為リタル上ハ暫ク見

合セタシ御意見如何

(之レヨリ先キ漢雷其他ノ突害ノ顧慮ヨリ之レヲ分置

スルノ議アリ然ルニ二十日以後ノ決心ニ依リ此伺アリナリ)

正午三時着兵站並ヨリ電報

左ノ通り通信長官ヨリ申上リ御通知及デ

對馬淺見灣等崎ニ軍用電信ヲ架設シ嚴原電信局

ニ連絡シ早崎ニ通信所ヲ置キ二十日ヨリ開ク

一午後〇時四十五分竹内兵站並ヨリ

軍医部輸送部トモ昨夜着ス及御通知仁川ノ病院

半部ハ不用ノ処一昨日患者十九人ヲ送りタル為メ之レヲ

本邦ニ皈シ終ル迄仁川ニ置クノ必要ヲ生シタリ

一午後〇時四十五分兵站軍医部事務所ヲ龜山ニ号地前田仙

次郎方へ移轉ノコトヲ報告ス

一午後一時在仁川野戰病院半部ヲ移轉スル為メ左ノ命令

ヲ下ス(要旨)

醫官一名看護長一名看護病人二名ヲ其地ニ置キ患者

ヲ還送スル迄其治療ニ從事セシメ他ハ明後廿四日中ニ結
柳洞ノ他ノ半部ノ令スベシ

一同時兵站並ニ前項幕官ノ準備ヲ命セリ

一同時在栲柳洞第二野戰病院半部ニ對シ前令令ヲ下セ
コトヲ通報ス

一午後一時受領第一野戰病院ヨリ軍樂隊ハ繙帶字及

救急法教授 本月九日ヨリ始メ同廿一日卒業ノ旨報告

一午後二時十六分着患者輸送部長ヨリ竜山ニ移轉ヲ報告
ス

一午後五時四十分着サツ第二十四号ヲ參謀總長ヨリ電
報アリ

一午後六時報第二号ノ電報ヲ大本營ニ呈ス

公使ノ求メニ依リ明朝王宮ヲ圍ハ突戰ハ免レホム

ベレ(其、今後、決心ヲ述テ)

直、騎兵中隊長ニ明日、奈將校以下十五騎(竹内少尉之

レヲ率ユ)ヲ平壤ニ出シ、南城鳳山平山ニ進騎ヲ設テ、大同江

方向ヲ搜索セシム候セテ、先キニ出テ居ル所、平田兩中尉ノ

安否ヲ搜ラレム

一、同時、福島中佐ヨリ、義州電線、コニ付、電報アリ

直、之、返、電、切、断、決、ス

一、午後十時廿分、着、福島中佐ヨリ、電報

委細承知明朝ニテ、其作業ヲ終ユヘシ(義州線、切断)

一、午後十時廿分、着、能、誠、領、事、ヨリ、米、國、軍、艦、エ、ノ、カ、レ、イ、号、艦

長、及、主、計、長、今、夜、十、時、陸、路、入、京、途、中、不、都、合、ナ、キ、様

可、然、頼、ム、音、電、報

一、午後十時四十分、着、福島中佐ヨリ、電報、南、大、門、及、西、大、門

ヲ開カサレトキハ一戸大隊ニテ四時ニ破ル者アリ

一本日午後四時、會報

一歩兵隊第一隊隊第三大隊ハ梧栢洞ノ東方應理ノ溝ニテ

一目下ノ一、林ヲ入テ各隊行軍出發アリ、於テ附屬ノ通弁ヲ誑

法式ヲ行フニ(明日ノ用ノ爲メ)本日各隊、通弁ヲ付セシメ以テ殊

實ニ志シテ是等ヲ秘密ノ減ハニテ遊クニ

一迎恩門附近ノ草地、韓人ノ患病者(傳染病者)隔離地

ナリ、近接スルノ様注意スルニ

一通弁ノ携帶口糧ハ雇入確定次第之ヲ始ス

一本日午前七時、密談ノ公使ノ求メ依リ計畫及準備セラル左

如シ
一各隊、通弁ヲ各付ス

一明廿三日午前三時半迄、公使ヨリ通牒ナレバ軍隊ハ直ニ出

癸王城ヲ脅威ス

一彼レヨリ癸砲スル氏ハ正當防禦スル事別々通知セズ銃聲ヲ

知レズ

一日本居留地近傍ハ歩兵第十一解隊第一大隊ヲ巡邏ヲ擔當

ス

一午前四時ヲ期シ出癸光賢門東大門東北門ニ出兵シテ警

戒スルハ第一大隊ノ任トス

一歩兵第十一解隊ヨリ

南大門ニ一小隊

北二門ハ守備在銀又

西大門ニ一小隊

大隊長ノ指揮スル三中队(内一中队ハ大段屋護送)

ヲ以テ市中央街道ノ西南ヲ巡邏ス

一各解隊共給養ハ本隊ヨリ送ル

注意 各個に散歩スルコトヲ嚴禁ス

一 第廿一聯隊に工兵一小隊ヲ付シ爆薬ヲ用ユル場合(内若クハ石垣、破壊)ニ供ス

一 午前四時本官入京スルニ付西島中佐倉山諸兵ヲ指揮セシム

一 第廿一聯隊ノ残留隊ハ砲兵護衛ヲ兼ス

一 砲兵ハ武番丁(阿峴洞ノ北方高地)ニ放列シ敷キ至成ス

一 戸少佐大隊ノ守備スル諸門ハ退兵ヲ勝手ニスルコト

一 村木少佐異人ヲ接待ス

一 王ノ逃亡後ヲ圍ムハ益ナシ故ニ撤夜ニ早幕幕宮附

近ヲ探偵セシムルコトハ公使館ノ擔當

一 撤夜及ハハ諸方ニ篝火ヲ焚クコト

一騎兵十二騎、本日京城、差遣ス

一留守隊ヨリ必要アレハ野戰病院へ若干ノ兵ヲ出ス

一出門、洋人ニハ護衛兵二名ヲ付ス

一第廿一聯隊へ騎兵七騎及第廿一聯隊、第廿大隊へ

五騎ヲ付ス

一大院君ヲ護衛ハ第廿一聯隊大村田上覺一中隊ヲ率ヒ

從事ス

岡本穂積兩名先キニ其宅ニ入り居ル

大院君ノ供ハ四五十人内日本人變服十四五人アリ

右致報告候也

明治廿七年七月廿三日 混成旅團長大島義昌

參謀總長熾仁親王殿